

超高压水による煙突内石綿除去・石綿管除去工事

概要

古い学校や役場などではコンクリート製の煙突があり、その内部でカボスタックと呼ばれるような石綿断熱材が使われているケースがあります。また古い衛生配管で石綿管がコンクリート自家埋めになっている場合もあります。それを超高压水(ウォータージェット)の機械によって、吸引除去を行う工法があります。これにより作業員が入れないような細い煙突でも除去が可能になります。



応急処置前の煙突状況

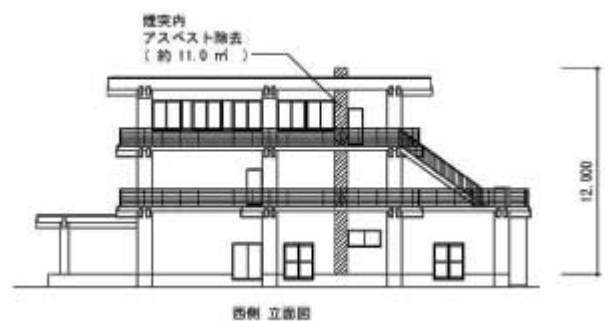


応急処置後の煙突状況

国交省北陸地方整備局
煙突内石綿除去資料より



煙突内部のアスベスト断熱材



西側 立面図

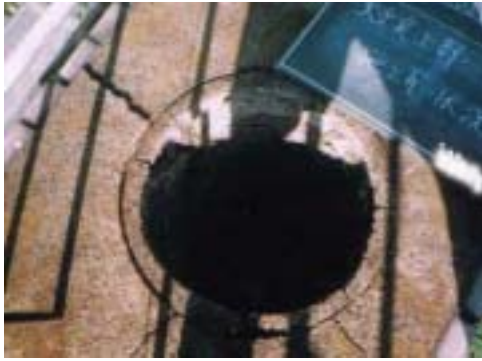
工法概要

1. 煙突上部に架設機材設置
2. 煙突内にノズル投入
3. 下部では漏水対応、土留め
4. ジェットハツリ開始
5. 石綿廃棄材バキューム
6. 終了・産廃

超高压水による石綿除去のメリット

1. 高所作業が無く、また機械のみで行うので安全な作業である
2. 水を使うので石綿飛散のリスクが少なくなる
3. 作業時間が早い (既に労働基準監督署許可済み、石綿管工法 BCJ 取得済み)

工法



煙突・加熱スタッ



煙突内部石綿



超高压水発生機



煙突上部に機械取り付け



煙突・加熱スタッ



下部で吸引



作業終了後 状況



吸引石綿 袋詰め



産廃処理

工事計画

フローチャート(カボスタック)

株式会社アイ・エヌ・ジー

